

西部「道の駅」は、戸田駅の活性化構想を経て、10年に及ぶ地域住民の熱い想いの結晶です。

国道二号線の拡幅工事と夜市川の補修工事に併せて、市の要請に応える形で、国、県が三位一体となった「道の駅」の建設が決定。そして、

4年間の正規の手続き、関係機関との調整、

実証駅店舗の運営のうえに今日を迎えたのです。

現在まで、

正規の会合、パブリックコメント、

シンポジウム等30回以上、

運営協議会の会員は

三百名を超えています。

木村市長は選挙公約で「ハコモノ」廃止を掲げられ、徳山駅については相手がJRということで早々と公約を撤回されましたが、何が何でも「道の駅」は公約通り縮小をしないとけない、と意地になっているように見えるのです。

市民と行政の約束である「道の駅」を

反故はごにすることを前提に委員会を構成し、

たかだか一ヶ月程度で、性急な結論を出そうとされているなら、われわれ市民に対する二重の冒瀆ぼうとくと言えませんか？

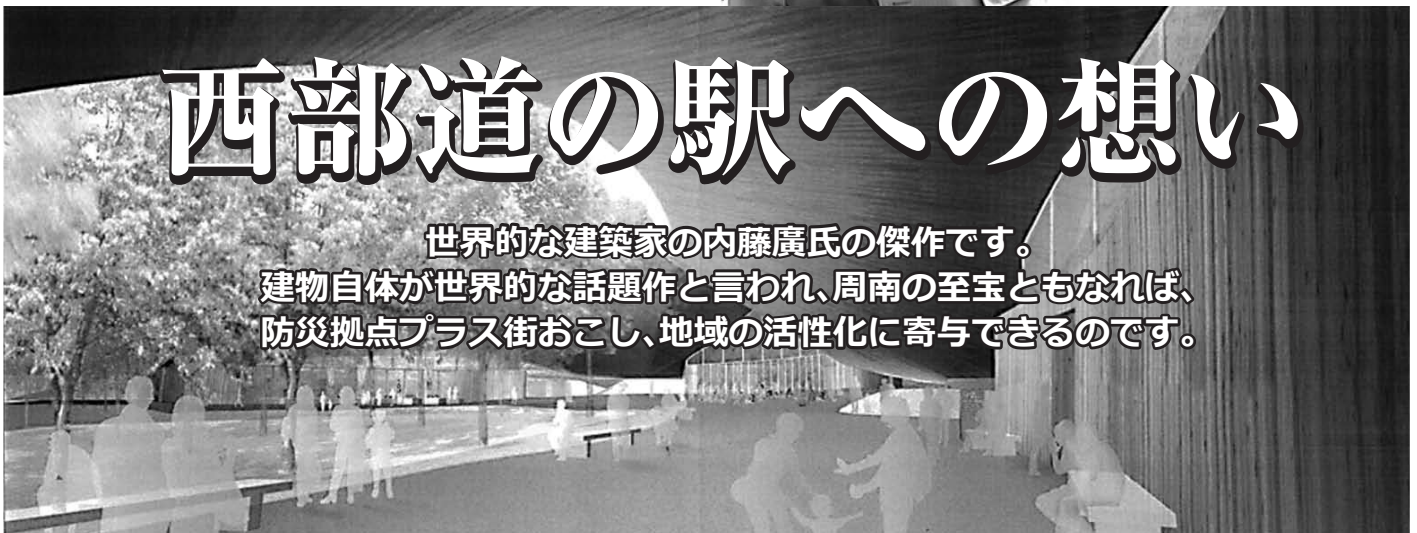
これまで耐えに耐えてようやく、この地域の方々は希望と夢を「道の駅」に託したのです。
この熱き想いに是非とも応えられよう、
「道の駅」の廃止・縮小を言い出された木村市長に慎重なるご判断、

関係団体との真摯しんしな協議、地元住民との直接対話集会の開催を切にお願い申し上げます。



西部道の駅への想い

世界的な建築家の内藤廣氏の傑作です。
建物自体が世界的な話題作と言われ、周南の至宝ともなれば、
防災拠点プラス街おこし、地域の活性化に寄与できるのです。



防災拠点として

アンアンセンター

今回の「道の駅」で提唱の「安心安全センター」防災拠点の発想は、国からも高く評価され、いまや全国の道の駅の基本的発想となっています。

「道の駅」自体も、いざという時には

千人単位の地元市民が退避場所として

利用可能な構造で設計されています。

世界的な建築家の内藤廣氏による、世界でも

類を見ないユニークな構造物と発表されました。

建物が有する観光面の経済効果

も考慮して頂きたいものです。

安心安全のために、

西部消防署も「道の駅」と併設

することになっていました。

地元経済の活性化策として

絶好の位置にあるこの「道の駅」には、

地元の生産物、加工品に限らず、

県内からの内々の申し込みが相次いでいます。

地元の雇用効果も無視できません。

新卒の若者、Cターン希望の地元出身者、

年金生活のシニアと、労働市場の創出効果も大です。

建設投資額と付帯工事額の合算では、

地元経済に与える経済効果は

数十億になる見込みなのです。

市民サービスの向上策として

西部地区への、一人当たりの市からの投資金額が、

他地域と比較して特に少ないことは、住民誰もが

わかっておりながら、じつと我慢してきたところでは、

今回の「道の駅」には、住民サービスの各施設が併設される予定でした。

経済効果のなかに、このようなサービス効果が

しっかりと加味されてしかるべきであります。

今なぜ「道の駅」か!

今回の「道の駅」をお金だけの問題にすり替え、矮小化(わいしょうか)する考えは、間違っはおりませんか?

軽費削減策として

木村市長は、選挙中の公約の中で、「道の駅」に対して

《25億の無駄遣い、ハコモノ廃止》と訴えられました。

数字のマジックは本当に恐ろしいものです。

25億円とは、合併特例債の国の負担も合わせた金額です。

このような公約は、市民に誤解を与えたではありませんか?

市の一般財源、すなわち

周南市民が直接支払い、

負担する金額は、今でも5億程度です。

合併特例債の市の負担額から、

補助金等の減額分を加味しての5億円です。

さらに、建築資材の効率的な購入方法や厳正な入札、

さらに有能な市職員の知恵を出して頂ければ、

建築コストの削減は、もっと進むはずなのです。

木村市長の公約にある25億円ではありません。

市民の負担は、3億〜4億円へ。

市が情報開示をすれば明確にわかることですが、

すでに3億円を超える余剰財源が確保

されているはずですよ。

地域活性化は、全国800の市や数百のまちの悲願と言えます。

その認可、予算取りのため、市町村間での激烈な競争があります。

幸いにも今のところ上部機関である国、県の賛同が得られています。

上部機関の熱が冷めていない今がチャンスなのです。

地元住民が主体となり、熱い想いで結集、長い時間をかけて

推進されてきた「道の駅」の建設は、

二年あまりで期限切れの合併特例債の有効な活用

であり、今がそのチャンスと言えませんか?

この度、島津ゆきおは政治資金管理団体として「愛幸会」を設立致しました。
島津ゆきおへのご支援をお願い致します。

【年会費】賛助会員 一口千円 2口以上／特別賛助会員 一口1万円 1口以上
【振込先】郵便振替 01370-1-54882 口座名:愛幸会

愛幸会通信[(@あっと)しまづ]
編集・発行:愛幸会 購読料 100円
周南市新地2-120 TEL:32-4026

あっと
@しまづ